

「東北・北海道ブロック漁業士研修会」本県で開催される

1. 開催

去る令和6年1月27日～28日の2日間、本県漁業士会の主催で「令和5年度 東北・北海道ブロック漁業士研修会」が開催されました。

1日目の研修会は「みまつホテル（水戸市）」で、2日目の視察研修は大洗町地区において実施され、県外から参加された漁業士さん等と意見交換や協議を通じてさらなる交流を深めることができ、大変有意義な研修会となりました。

2. 概要

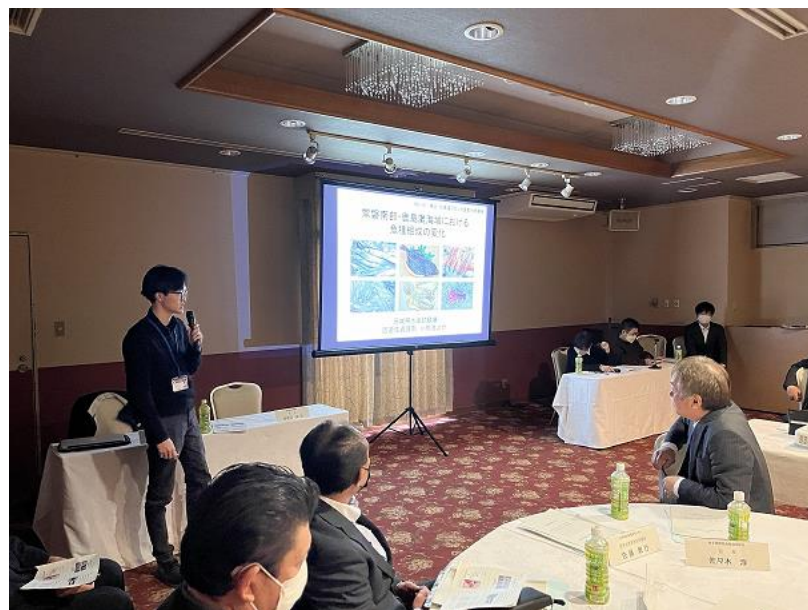
1日目は、各県漁業士会が取り組んでいる活動についての報告及び全国漁業士連絡会議に提案する令和6年度の全国テーマに関する協議、茨城県水産試験場から近年の海況変化に伴い変化している常磐南部・鹿島灘海域における魚種組成に関する話題提供、2日目の視察研修は、大洗町地区の成功事例（大洗町漁協直営食堂「かあちゃんの店」、しらすカゴ洗浄施設）に関する見学という内容でした。特に、1日目のブロック協議、話題提供では各テーブルとも意見交換が活発であり、持ち時間を超過するほど熱のこもった議論が交わされました。

3. 結果

全国漁業士連絡会議へ提案する全国共通テーマについては、「漁業士の確保について（特に若手・女性）」が採択されました。これは、全国的に漁業者数が減少するなか、漁業士の確保が課題となっているため、今回参加した多くの県から同様な意見が出されたことを受けて決定されたものであり、今後、3月8日の全国連絡会議において他ブロックからの提案とあわせて協議され、令和6年度の共通テーマが決定されることとなっています。



会場の様子



水産試験場からの話題提供

「常磐南部・鹿島灘海域における魚種組成の変化」

（経営普及室）

[次回予告]R6. 3. 1発行の「水産の窓」は、「冬春季の漁海況予報」を予定しています。